

学生と教員の見方

【学生の見方&考え方】
(3年 西山亜蘭)

私は大学に通いながら株式会社 a m v i s i o n といつ名前で会社経営を目指している。事業内容はインフルエンサー(有名人)が着なくなつた服を他の人に着てもらうことで新たな命を吹き込むことを目的としている。

事業背景は、自分の友人にインフルエンサーとして活躍している人がおり、彼が不要な衣服の利用について、処分せざるを得ないという話を聞いたことが発端だ。そこで、自分で何ができるかと考えたところ、インフルエン

サーが、自分の名前(アランディング)を活用して、楽しめ、楽に服を出品でき、SDGsや環境問題など深刻化していく中、こうしたことで多くの人に少しでも興味を持つただけたらという思い

が込められている。

a m v i s i o n は、大阪に広大な倉庫を借りてお

り、ここで全ての洋服の管

理、採寸、撮影、梱包を行

う。これらの倉庫で物流シ

ステムを導入し、効率的に

洋服の管理と出荷を行つ。

東京には、レンタルオフィスを借り、ここを事業の運

営拠点としている。このレ

ンタルオフィスは、原宿に

に關係している。企業不

動産は、本社ビル、

自体も、若い層をターゲットにしていて、凄く理

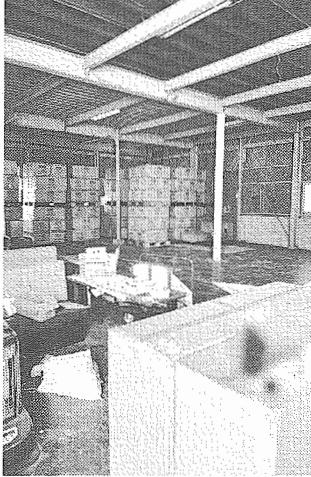
を同時に見える。この事業に生かしていくたいです。

【教員による展開】
(山本卓教授)

企業経営と不動産は密接に關係している。企業不動産は、本社ビル、在庫など構成される。企業不動産のなかで、倉庫は目立たない存在であるが、重要性は極めて高い。企業経営は、在庫管理の利便性とアクセスの良さが特徴だ。

そして、今の時代、ネット社会ということもあり、ビジネスの利便性とアクセスの良さが、重要な要素となる。しかし、在庫をたくさん抱えると保管コストが過剰となり、収益を悪化させる。ウェブサイトでの運営など、商品の販売方法が多様化するにつれて、在庫の管理が複雑化する傾向にある。西山氏は、学生起業家として、この在庫管理の問題に挑戦するところである。

企業経営と倉庫



筆者が借りている倉庫の内部風景

インフルエンサーの古着販売

原宿のレンタルオフィスを活用

位置していて、東京都心といふこともあり、ビジネスの利便性とアクセスの良さが、重要な要素となる。しかし、在庫をたくさん抱えると保管コストが過剰となり、収益を悪化させる。ウェブサイトでの運営など、商品の販売方法が多様化するにつれて、在庫の管理が複雑化する傾向にある。西山氏は、学生起業家として、この在庫管理の問題に挑戦するところである。

そこで、今、時代、ネット社会ということがあり、ビジネスの利便性とアクセスの良さが、重要な要素となる。しかし、在庫をたくさん抱えると保管コストが過剰となり、収益を悪化させる。ウェブサイトでの運営など、商品の販売方法が多様化するにつれて、在庫の管理が複雑化する傾向にある。西山氏は、学生起業家として、この在庫管理の問題に挑戦するところである。